

平成23年第3回(3月)川南町議会定例会会議録(3日目)

平成23年3月10日(木曜日)

本日の会議に付した事件

平成23年3月10日 午前9時00分開会

- 日程第1 議案第 8号 平成22年度川南町一般会計補正予算(第11号)
- 日程第2 議案第 9号 平成22年度川南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
- 日程第3 議案第10号 平成22年度川南町漁業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
- 日程第4 議案第11号 平成22年度川南町営農飲雑用水事業特別会計補正予算(第2号)
- 日程第5 議案第12号 平成22年度川南町下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- 日程第6 議案第13号 平成22年度川南町介護保険特別会計補正予算(第4号)
- 日程第7 議案第14号 平成22年度川南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
- 日程第8 議案第15号 平成22年度川南町水道事業会計補正予算(第3号)
- 日程第9 議案第 5号 川南町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 日程第10 議案第 6号 川南町児童プール条例の一部改正について
- 日程第11 議案第 7号 第4次国土利用計画(川南町計画)について
- 日程第12 議案第16号 平成23年度川南町一般会計予算
- 日程第13 議案第17号 平成23年度川南町国民健康保険事業特別会計予算
- 日程第14 議案第18号 平成23年度川南町漁業集落排水事業特別会計予算
- 日程第15 議案第19号 平成23年度川南町営農飲雑用水事業特別会計予算
- 日程第16 議案第20号 平成23年度川南町下水道事業特別会計予算
- 日程第17 議案第21号 平成23年度川南町介護認定審査会特別会計予算
- 日程第18 議案第22号 平成23年度川南町介護保険特別家計予算
- 日程第19 議案第23号 平成23年度川南町後期高齢者医療特別会計予算
- 日程第20 議案第24号 平成23年度川南町水道事業会計予算

出席議員(14名)

1番	———	君	2番	徳弘 美津子	君
3番	長野 義勝	君	4番	黒木 則人	君
5番	今井 伸二	君	6番	江藤 和利	君
7番	内藤 逸子	君	8番	竹本 修	君
9番	中村 守	君	10番	米山 知子	君
11番	山下 壽	君	12番	久木野 清人	君
13番	濱本 義則	君	14番	河野 幸夫	君
15番	川越 忠明	君			

欠席議員(なし)

事務局出席職員職氏名

事務局長 永友 尚登 君 書記 島岡 武 君

説明のために出席した者の職氏名

町 長	内野宮 正英 君	副町長	蓑原 敏朗 君
教育長	佐藤 賢一郎 君	会計管理者 ・会計課長	佐藤 むつ子 君
総務課長	吉田 一二六 君	総合政策課長	諸 橋 司 君
農林水産課長	押 川 義 光 君	農村整備課長	横 尾 剛 君
建設課長	村 井 俊 文 君	上下水道課長	河 野 秀 二 君
農業委員会 事務局長	高 松 秀 樹 君	教育総務課長	永 友 好 典 君
生涯学習課長	吉田 喜久吉 君	税務課長	篠 原 浩 君
町民課長	佐 藤 弘 君	環境対策課長	黒 木 秀 一 君
健康福祉課長	米 田 正 直 君	代表監査委員	三 角 巖 君

午前9時00分開会

○議長(川越 忠明君) おはようございます。これから本日の会議を開きます。本日の議事日程は、お手元にお配りしてあるとおりであります。しばらく休憩します。全員、議員控室に移動願います。

午前9時01分休憩

午前9時40分再開

○議長(川越 忠明君) 会議を再開します。休憩前に引き続き、会議を続行します。

日程第 1 議案第 8号 「平成22年度川南町一般会計補正予算(第11号)」

日程第 2 議案第 9号 「平成22年度川南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)」

日程第 3 議案第10号 「平成22年度川南町漁業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)」

日程第 4 議案第11号 「平成22年度川南町営農飲雑用水事業特別会計補正予算(第2号)」

日程第 5 議案第12号 「平成22年度川南町下水道事業特別会計補正予算(第3号)」

日程第 6 議案第13号 「平成22年度川南町介護保険特別会計補正予算(第4号)」

日程第 7 議案第14号 「平成22年度川南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)」

日程第 8 議案第15号 「平成22年度川南町水道事業会計補正予算(第3号)」

以上、8議案を一括議題とします。本、8議案は、所管事項別に各常任委員会に付託されておりましたので、各常任委員長の報告を求めます。

まず、総務常任委員長の報告を求めます。

○総務常任委員長(山下 壽君) 総務常任委員会に付託されました案件につきまして、関係職員の出席を求め、説明を受け、慎重に審査いたしました。議案第8号、平成22年度川南町一般会計補正予算(第11号)については、全員賛成で可決であります。今回、歳入歳出の予算の総額に歳入歳出それぞれ2億7,558万8千円を追加し、歳入歳出の予算の総額をそれぞれ75億4,558万8千円とするものであります。総務課関係につきましてであります。予算の総額が前年同期予算に比べ金額で9億646万1千円、率にして13.7%の増となります。9款1項1目、地方交付税は、追加されました普通交付税8,023万7千円、12月交付の特別交付税1億8,040万円が交付されました。特別交付税のうち、口蹄疫関連分として1億4,866万8千円が交付されました。16款1項1目1節、一般寄附金は、畜産農家への支援につながる事業を実施する財源として宮崎県口蹄疫被害義援金市町村配分金6,500万円、ふるさと納税分として497万9千円であります。歳出の主なもの、2款1項5目25節、積立金3億8,241万円は、財政調整基金に2億8,485万1千円、町債管理基金に1億円を積み戻しするものです。これにより、財政調整基金の総額も、3億9,917万2千円となり、このあと専決処分などがされますと、平成22年当初の額は確保できることでした。総合政策課関係であります。そのほとんどが口蹄疫のため、事業ができなかったため、減額修正であります。税務課関係であります。2款2項2目13節、委託料92万4千円は、口蹄疫に伴い住民税のシステム改修費でございます。第2表繰越明許費は、そのほとんどが口蹄疫により事業の完了が遅れ、繰

越明許するものであります。以上で終わります。

○議長(川越 忠明君) 次に、文教厚生常任委員長の報告を求めます。

○文教厚生常任委員長(徳弘 美津子君) 議案第8号、平成22年度川南町一般会計補正予算(第11号)について、その審査経過と結果について報告いたします。文教厚生常任委員会に関する案件について、関係課の職員の出席を求め、慎重に審査を行いました。歳出で、まず、2款総務費、戸籍住民基本台帳費277万2千円の現行システム現況調査分析委託料の減額は、12月に予算計上した外国人登録のシステム委託料で、次年度に再考しても間に合うとのことで、減額するものです。それから、4款衛生費、2項清掃費の塵芥処理費の塵芥収集業務委託料200万円の減額は、委託先シルバーセンターへの1人当たりの単価の減額によるもので、1時間1,100円で見込んでいたものが、塵芥収集業務1時間990円、坂の上処理場1時間880円となるものです。西都児湯環境整備事務組合負担金613万1千円の減額は、資源ゴミとエコクリーンみやぎきの売電により負担金が減額されました。その他、文教厚生常任委員会関係については、原案のとおり議案第8号平成22年度川南町一般会計補正予算(第11号)は全員賛成で可決であります。

続けて、議案第9号、平成22年度川南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)については、歳入歳出それぞれ8,320万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ24億7,219万4千円とするものです。2款、保険給付費は、実績見込みによるもので、原案のとおり全員賛成で可決であります。

議案第13号、平成22年度川南町介護保険特別会計補正予算(第4号)については、歳入歳出それぞれ6,357万5千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ12億543万7千円とするもので、全員賛成で可決であります。

議案第14号、平成22年度川南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)については、歳入歳出それぞれ1,644万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億3,232万6千円とするもので、全員賛成で可決であります。

以上、文教厚生常任委員会に付託されました報告を終わります。

○議長(川越 忠明君) 次に、産業建設常任委員長の報告を求めます。

○産業建設常任委員長(竹本 修君) 産業建設常任委員会に付託となりました議案第8号、10号、11号、12号、15号について、所管職員の出席を求め、説明を受け、質疑、審査を慎重に行いました。その経過と結果について報告します。

5議案とも全員賛成で可決であります。

議案第8号、平成22年度川南町一般会計補正予算(第11号)中、産業建設常任委員会に関する事項について、報告します。主な歳出では農林水産業費の農業振興費の報償費50万円は、尾鈴畑作営農調査委託事業で口蹄疫に伴う作付けが出来なかったことにより減額、また、融資主体型補助事業補助金は、入札による事業費の減額のため、補助金も178万1千円減額するものです。なお、自己負担の融資については、農業近代化資金を利用するものであります。

林業振興費の委託料、流域公益保全林整備事業341万円は、植栽・除伐が事業対象として認められなかったために減額するものです。

水産振興費の漁港建設費広域水産物供給基盤整備事業負担金2,500万円の減額は、事業費の削減による減額であります。

土木費、道路新設改良費の167万7千円は、地方特定道路整備事業として、中里・野田原線を整備するために、土地購入費549平方メートル、補償補てん及び賠償金費用でございます。

議案第10号、平成22年度川南町漁業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)、この補正予算は、歳入歳出それぞれ144万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2,604万円とするものです。歳入では、滞納繰越分15万2千円、一般会計繰入金159万2千円、歳出の減額については、漁業集落排水施設整備事業費の144万円は施設の改善による需用費の減、さらに工事費等の入札残であります。

議案第11号、平成22年度川南町営農飲雑用水事業特別会計補正予算(第2号)、この補正予算は、歳入歳出それぞれ50万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1,022万5千円とするものです。歳入の減額については、口蹄疫による使用料の減額であり、歳出の減額につきましては、工事費の不用額であります。

議案第12号、平成22年度川南町下水道事業特別会計補正予算(第3号)、この補正予算は歳入歳出それぞれ76万7千円を増額し、歳入歳出の総額を1億3,680万4千円とするものです。主な歳入では負担金の237万2千円、使用料の23万2千円を計上し、一般会計繰入金を208万8千円減額するものです。歳出は、需用費、委託料負担金の減額により、積立金に258万3千円するものです。

議案15号、平成22年度川南町水道事業会計補正予算(第3号)、この補正予算は収益的収入及び支出の収入212万2千円の減により、水道事業費収益の合計が3億7,429万円となり、収益的収入及び支出の支出営業費用5,147万6千円を増額し、収益的支出の総額3億6,447万6千円とするものです。収入については、受託工事費の収益、他会計負担金の当初見込み計上減であります。次に支出の増額は資産消耗費の固定資産の除却費であります。主なものは上町・南中須線、銀座・大内線の道路改修及び計装設備等によるものです。

以上で報告を終わります。

○議長(川越 忠明君) 以上で、委員長報告を終わります。これから、委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありますか。質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。念のため申し上げます。討論・採決は、議案ごとに行います。

議案第 8号「平成22年度川南町一般会計補正予算(第11号)」について討論を行います。討論はありますか。討論なしと認めます。これで討論を終ります。

これから議案第8号について、採決します。お諮りします。本案は、委員長報告のとおり、即ち原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。したがって、議案第8号「平成22年度川南町一般会計補正予算(第11号)」については、委員長報告のとおり可決されました。

議案第9号「平成22年度川南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)」について討論を行います。討論はありませんか。討論なしと認めます。これで討論を終わります。これから議案第9号について、採決します。お諮りします。本案は、委員長報告のとおり、即ち原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。したがって、議案第9号「平成22年度川南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)」については、委員長報告のとおり可決されました。

議案第10号「平成22年度川南町漁業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)」について討論を行います。討論はありませんか。討論なしと認めます。これで討論を終わります。これから議案第10号について、採決します。お諮りします。本案は、委員長報告のとおり、即ち原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。したがって、議案第10号「平成22年度川南町漁業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)」については、委員長報告のとおり可決されました。

議案第11号「平成22年度川南町営農飲雑用水事業特別会計補正予算(第2号)」について討論を行います。討論はありませんか。討論なしと認めます。これで討論を終ります。これから議案第11号について、採決します。お諮りします。本案は、委員長報告のとおり、即ち原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。したがって、議案第11号「平成22年度川南町営農飲雑用水事業特別会計補正予算(第2号)」については、委員長報告のとおり可決されました。

議案第12号「平成22年度川南町下水道事業特別会計補正予算(第3号)」について討論を行います。討論はありませんか。討論なしと認めます。これで討論を終ります。これから議案第12号について、採決します。お諮りします。本案は、委員長報告のとおり、即ち原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。したがって、議案第12号「平成22年度川南町下水道事業特別会計補正予算(第3号)」については、委員長報告のとおり可決されました。

議案第13号「平成22年度川南町介護保険特別会計補正予算(第4号)」について討論を行います。討論はありませんか。討論なしと認めます。これで討論を終わります。これから議案第13号について、採決します。お諮りします。本案は、委員長報告のとおり、即ち原

案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。したがって、議案第13号「平成22年度川南町介護保険特別会計補正予算(第4号)」については、委員長報告のとおり可決いたしました。

議案第14号「平成22年度川南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)」について討論を行います。討論はありませんか。討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから議案第14号について、採決します。お諮りします。本案は、委員長報告のとおり、即ち原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。したがって、議案第14号「平成22年度川南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)」については、委員長報告のとおり可決されました。

議案第15号「平成22年度川南町水道事業会計補正予算(第3号)」について討論を行います。討論はありませんか。討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから議案第15号について、採決します。お諮りします。本案は、委員長報告のとおり、即ち原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。したがって、議案第15号「平成22年度川南町水道事業会計補正予算(第3号)」については、委員長報告のとおり可決されました。

日程第9 議案第5号「川南町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について」

日程第10 議案第6号「川南町児童プール条例の一部改正について」

以上2議案を一括議題とします。これから、本2議案について質疑を行います。質疑はありませんか。

○議員(内藤 逸子君) 議案第6号の「川南町児童プール条例の一部改正について」ちょっと質問いたします。あの、この条例について、浪掛のプールを壊して更地にするっていうことと思いますが、全体的に唐瀬原のところも放置されたまんまになってるんですよね。全体的に調べていただけたんでしょうかね。そこだけが申し出があったからするっていうことなんでしょうか。お尋ねします。

○健康福祉課長(米田 正直君) 内藤議員のご質問にお答えしていきたいと思いますが、児童プールにつきましては、国光原とかですね、今言われました唐瀬原とか、そういったところがあるみたいでございまして、とりあえずですね、今回については浪掛児童プールを上げさせていただきましたが、随時ですね、地域との話し合いをしながらですね、地域がもう使わないと、もうどけて下さいということであればですね、今後の子どもの、児童数の状況を見ながら廃止をしていきたいというふうに思っております。以上です。

○議員(内藤 逸子君) 見回ってもらったら、はっきりわかると思うんですけど、本当に放置されたまんまで危険な状態だと思うんですよね。ぜひお願いしたいと思います。

○議長(川越 忠明君) ほかに質疑はありませんか。これで質疑を終わります。お諮りします。ただ今議題となっています議案を慎重に審議するため、所管の常任委員会に付託したいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。したがって、議案第5号は総務常任委員会に、議案第6号は文教厚生常任委員会に付託します。

日程第11 議案第7号「第4次国土利用計画(川南町計画)について」を議題とします。これから本議案について、質疑を行います。質疑はありませんか。質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。お諮りします。ただ今議題となっています議案を慎重に審議するため、所管の常任委員会に付託したいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。したがって、議案第7号は総務常任委員会に付託します。

- 日程第12 議案第16号「平成23年度川南町一般会計予算」
- 日程第13 議案第17号「平成23年度川南町国民健康保険事業特別会計予算」
- 日程第14 議案第18号「平成23年度川南町漁業集落排水事業特別会計予算」
- 日程第15 議案第19号「平成23年度川南町営農飲雑用水事業特別会計予算」
- 日程第16 議案第20号「平成23年度川南町下水道事業特別会計予算」
- 日程第17 議案第21号「平成23年度川南町介護認定審査会特別会計予算」
- 日程第18 議案第22号「平成23年度川南町介護保険特別会計予算」
- 日程第19 議案第23号「平成23年度川南町後期高齢者医療特別会計予算」
- 日程第20 議案第24号「平成23年度川南町水道事業会計予算」

以上9議案を一括議題とします。これから、本9議案について、質疑を行います。

これから、質疑を行います。質疑はありませんか。

○議員(濱本 義則君) 2点、3点ほどご質問いたします。まず、15ページです。一般会計、23年度の一般会計の、15ページです。平成23年度、議案第16号、平成23年度川南町一般会計予算につきまして、ご質問をいたします。15ページ、固定資産税の件でございますけども、この固定資産税に関しましては、全戸調査が行われましたよね。これがおそらく20、これ22年度で終わるんですかね。で、もし終わるとすればですね、それが見直されて賦課されるのは何年度からなるのかなと思いましたので、ちょっとご質問をいたします。それから、第3款79ページ、民生費の件でございます。シルバー人材センターへの補助金でございます。聞くとところによりますと、このシルバーの補助金につきましては、国から来る補助金に準じて町が出すというふう聞いておりますけども、前回、民主党の例の仕分けでシルバーの補助金を見直すというような結論も出てるようでございます。来年度の国の補助金が大体もう決まってるのかどうか、その辺をちょっとお伺いいたします。それから、もう1点でございます。第8款土木費、133ページでございます。伊倉の自然公園管理委託料、この件につき

まして、どういう形でされてるのか、1人ずっと毎日そこにいてやってるのか、そしてその中でどういう作業をされてるのかをちょっとお聞きしたいと思います。以上3点です。

○税務課長(篠原 浩君) 濱本議員のご質問にお答えいたします。全棟調査の部分がいつから反映されるかというご質問だったかと思いますが、全棟調査につきましては21、22年をかけて行いまして、23年、今回の当初予算分から反映している形になっております。以上です。

○健康福祉課長(米田 正直君) 濱本議員のご質問にお答えしますが、シルバー人材センターの補助金でございますけれども、国が定めた基準でございますが、ABCと3つのランクがありまして、川南町はBランクに所属するわけでございますけれども、国の補助限度額が710万ということで下げられております。しかし、川南町の老人、高齢者福祉対策ということも勘案してですね、昨年と同様の額を計上させていただいております。以上です。

○総合政策課長(諸橋 司君) 濱本議員のご質疑にお答えをいたします。伊倉自然公園の管理委託料の件なんですけど、シルバー人材センターにですね、委託をしております、主に清掃と公園の監視、剪定等を行っていただいております。以上です。

○議員(濱本 義則君) まず固定資産税でございますけども、予算でですね、前年比950万の減額になっております。全戸調査すればですね、必ずこれが増額にならないかんのやないかなと私は思うんですけども、その辺の考え方をちょっとお聞かせ願いたいと思います。それからもう一つは、伊倉浜の公園の管理の件でございますけども、これは1人必ず常駐しているという意味でございますか、確認したいと。

○税務課長(篠原 浩君) 濱本議員のご質問に再度お答えいたします。全棟調査の部分で税収が増えるはずではないかというご質問でございますが、これにつきましては、家屋分につきましてはですね、新規課税分、今回の全棟調査で分かった部分が1,113万3千円で、全棟調査による減失分、この部分が541万9千円で、通常の新築課税分、これが2,700万と減失分62万ということで、家屋だけを見ますと全体的には、全棟調査では600万くらいの増になるんですけど、前年度と比較した場合にですね、全体的には0.1%の増、35万6千円くらいの増でございます。償却資産の減がかなりありまして、全体的にはですね、今回945万6千円の減という形になっております。以上でございます。

○総合政策課長(諸橋 司君) 濱本議員のご質疑に再度お答えいたします。伊倉自然公園の管理につきましては、毎日1人作業していただいております。以上です。

○議員(濱本 義則君) 固定資産税の全戸調査の結果につきまして、もしあれが出ておればですね、委員会にその結果を報告していただきたいと思います。以上で終わります。

○議長(川越 忠明君) 他に質疑はありませんか。

○議員(黒木 則人君) 平成23年度川南町一般会計予算の総合政策課関係ですけれども、内藤議員からも一般質問がありましたけれども、住宅リフォーム助成金1,500万円ですが、骨格予算にしては思い切った予算だなあというふうに感ずるわけですが、プレミアム券と似たような助成という

ふうに思えますが、この1,500万円の目的といいますか、それはどういうふうなのかとですね、もう一つ、環境対策関係ですけれども、水質検査に河川水等の25カ所と口蹄疫埋却地周辺の128カ所という補足説明があるわけですが、もう1年たつわけですが、その結果とですね、この公表の仕方についてご質問をいたします。予算書のページは98から99ページと57ページです。お願いします。

○総合政策課長(諸橋 司君) 黒木議員のご質疑にお答えをいたします。住宅リフォーム助成事業の目的につきましては、口蹄疫により影響を受けた町内経済を活性化させるため、緊急経済対策として町内の施工業者によるリフォームを行う町民に費用を助成することにしております。今年度は1,500万円の計上をしております。以上です。

○環境対策課長(黒木 秀一君) 黒木議員のご質問にお答えしたいと思います。水質調査の結果とその公表ということですが、水質検査の結果、ちょっと異常が出たということは2カ所ありまして、その後追跡調査しておりますが、現在のところ異常は出ておりません。それとその公表ということですが、検査が終わって次の検査に行くときに各自個人にその結果表を渡しております。以上です。

○議員(黒木 則人君) 住宅リフォームのですね1,500万というのは年末にあるのと違ってですね、非常にすそ野が広がっていいというふうに感ずるわけです。それで、今年度ですね、22年度にも行われているわけですが、その時に不足が出たと思うんですよ。その不足分までさかのぼってやられるかどうか、予算が大きいからですね、それも含んじょつとじゃねえかなあというような期待をもって質問するわけですが、そのところはもうどうなっているか教えていただきたいというふうに思います。そして水質検査ですけども、2カ所あって今はないということで、個人にしたということですけども、住民はですね、その地域の人はみんな心配するわけですよ。個人に連絡したということだけでなくして、地域住民が安心して生活できるようにですね、その地域の周囲にも教える方法はないものかなあというふうに期待をしておりますが、そういう考えはないかどうかお聞きをいたしたいと思います。

○総合政策課長(諸橋 司君) 黒木議員のご質疑に再度お答えをいたします。平成23年度の助成事業補助金の1,500万円につきましては、平成22年度のですね、事業にさかのぼることは考えておりません。平成22年度のですね、1,000万補助金があったわけなんですけど、好評でですね、10月半ばに助成のですね、不足が出ておりました。それでもその時点でですね、今年度の受付をやめておりますので、この1,500万円の中には今年度の分はさかのぼってはいません。以上です。

○環境対策課長(黒木 秀一君) 黒木議員のご質問に再度お答えしたいと思います。地域住民に対しての公表はということなんですけど、一応個人名等もありますので、今後いろいろ研究してできればそういうことにしたいと思います。今後検討していきたいです。

○議員(黒木 則人君) 再度ですけども、今ですね、10月以降受け付けた分は断っておるといことですけども、こういうことはですね、継続することが大事と思うので、何人か予算が不足してですね、

自己負担でやってる方もおられるようですので、何か予算をですね、さかのぼってでも計上するくらいの思いやりがあってもいいっちゃねえかというふうに思いますので、それも希望しております。また、水質検査の方もなるだけですね、早く住民が安心するように地域住民に公表していただきたいということを希望いたしまして質問を終わります。

○議長(川越 忠明君) ほかに質疑はありませんか。

○議員(米山 知子君) まずですね、23年度の一般会計予算についてですが、議案書の89ページ、放課後児童対策事業について少し詳細を詳しくお話しいただけたらと思います。次がですね、議案書の97ページ、健康増進事業費の中で、上から6行目、健診謝金とあるんですが、これはどういふところに対する謝金なのかお尋ねをいたします。それから、次に、議案書113ページの下の方です。消費安全対策交付金事業とあるんですが、これ、委託料800万って結構額が大きいと思うんですが、これはどういうことをどういうところに委託をされるのか、お尋ねします。議案書117ページ、通山農村公園の借地料32万円、これは毎年計上されてると思うんですが、これをずっと県から借り続けていくのかどうか、そこら辺りの今後の考え方ですね、それをお伺いしたいと思います。それと議案書の133ページ、公園費の中の日中友好通桜並木管理委託料29万円、出ておりますが、これはどこにどのような形で委託をされているのかをお伺いいたします。

○健康福祉課長(米田 正直君) 米山議員のご質問にお答えしていきたいと思いますが、放課後児童クラブの件でございますが、川南小学校に1カ所、それから児童館ということで2カ所あるわけでございますけれども、そこに対するクラブ指導賃金とですね、それから旅費、消耗品費、修繕料、もろもろ計上させていただいております。4人分でございます。川小のほうに3名、それから児童館のほうに1名でございます。以上でございます。

○農林水産課長(押川 義光君) 米山議員のご質問にお答えしたいと思います。113ページ、消費安全対策交付金事業の中の委託料の800万円の内訳でございますが、陥没対策としまして150万円、それから、草刈り作業としまして650万円という内訳で考えております。委託先につきましては、昨年度は緊急雇用の人間を県が雇ってということでしたが、今年度につきましては、草刈り作業の委託ができる業者さんをお願いするという考えでございます。もちろん町内を優先でと考えてはおります。それから、陥没につきましても、町内で22年度につきましては建設業協会と川南町内のですね、そういうところに委託しましたけれども、そういう陥没作業ができるような団体をですね、選定いたしまして委託するという考えでございます。以上でございます。

○総合政策課長(諸橋 司君) 米山議員のご質疑にお答えをいたします。日中友好通桜並木管理の委託料の件なんですけど、主に草刈り作業でありまして、今まではですね、シルバー人材センターのほうに委託をしております。以上です。

○生涯学習課長(吉田 喜久吉君) 米山議員のご質問にお答えいたします。通山農村公園の借地料の32万円なんですけど、県との契約におきましては平成25年度までということになっておりますが、現在、少年団等に利用がありまして、引き続き今のところは活用していきたいというふうに考えて

おりますが、25年度以降につきましては、まだ県と具体的な協議はやっておりません。以上でございます。

○健康福祉課長(米田 正直君) 米山議員のご質問に答えが漏れておりましたのでお答えしたいと思います。97ページの健康増進事業の健診謝金でございますが、これにつきましては、総合健診、歯科、医師謝金ですね、これ、6回の2万6千円と看護師の6人、図書券をやるようになっておりますが、3千円ということで、計の17万4千円でございます。以上です。17万4千円の内訳といたしましては、総合健診歯科、医師謝金ということで6回の2万6千円と看護師に対しての謝金、これは図書券を贈るよう計画はしておりますが、6人の3千円の1万8千円、15万6千円と合わせて17万4千円でございます。以上です。

○議員(米山 知子君) この予算書の中で、今は総合健診にかかわる分としてご説明あったので、それはそれでいいんですが、上にまあ看護師等賃金とかもろもろ書いてありますね、ですからそういうところとはやっぱり別に上げないといけないものなのかなと、非常にわかりにくいという気がいたしますので、担当所管のほうでちょっと精査をしていただきたいと思います。それと、さっきの委託料ですけど、陥没って言われましたね、農水課長。これ、陥没というのはどこの陥没、農地の陥没っていうことでしょうか。そこをもうちょっと詳しくお願いします。それと、日中友好通桜並木ですが、私これ、質問いたしましたのは、いま大きな桜の、相当樹齢たってますよね、あれは、10年以上たってると思うんですが、それが結構ぱっきりと切られておりますよね。ですから、そういうことはこの管理委託をしているうえで、今までシルバー人材センターに委託をされてたら、その判断で当然よかれと思ってなされたんだろうとは思いますが、通る道すがら見ますと、あれだけの育った桜の木をなぜ切らなければいけなかったのかというような気がいたします。そこ辺を事情がわかれば教えていただきたいと思います。

○農林水産課長(押川 義光君) 米山議員のご質問に再度お答えいたします。陥没と申しますのは、埋却をしましてかまぼこ状になっております。その部分のですね、農地でございますけれども、その部分が中の家畜がですね、分解されることによってずっとへこんでまいります。その部分をですね、修復するという意味の陥没の修復という意味でございます。以上でございます。

○総合政策課長(諸橋 司君) 米山議員のご質疑に再度お答えをいたします。日中友好通桜並木の桜を今年度、総合政策課で緊急雇用で雇っております作業員によりですね。大きい枝を落としたわけなんですけど、隣接する農地の所有者からですね、桜の木が太り過ぎて作物にですね、日光が当たりが悪いから、作物が育ちにくいという相談がありまして、それで、うちのほうで桜の枝を切ったところであります。以上です。

○議員(米山 知子君) 多分そういうことではないかと、畑地の横だけが大きく切り倒してあって、あまり畑地に影響がないところは残ってございましたので、そうではないかという気がしたんですが、当初はやっぱり小さな苗木を植えるときにはそこまで考えが及ばないということもあったのかも知れませんが、10年以上委託管理をしながら育てた桜の木を今になってぱっきり切らなければならない。やっ

ぱり何かをするときには10年先のことを考えて事業は進めていかなければならないということの、私は1つの例のような気がしたもんですから、あえてこのことを申し上げたんですが、まあそれでわかりました。ありがとうございます。

○議長(川越 忠明君) 他に質疑ありませんか。

○議員(中村 守君) 平成23年度一般会計予算中ですね、16ページであります。町たばこ税の関係ですね、ま、非常に興味がありますのでお尋ねいたすんですが、前年度予算が9,900万、本年度が1億2,500万ですが、約ですね。この差額の2,600万何がしがですね、値上がりの分ですね、300円から410円になったその差額は理解できるんですが、本町においてですね、その人数の増減がですね、少なくなつて金額の差額の分なのか、あるいは増えもしない減もしないで維持をしながら、その差額の増なのかですね、そこ辺の、この、積算根拠についてですね、教えていただきたいと思います。それから、議案第20号、町下水道事業関係の件ですが、7ページですね、歳入の下水道の使用料の関係ですが、本年度予算が3,800万、前年度が3,400万。ま、これはですね、下水道がですね、進んでまいりまして、その加入率といいますか、そういった点もですね、影響してくると思うんですが、若干前年度より増えておるわけですが、この見込み計上についてですね、教えていただきたいと思います。この2点についてよろしくお願ひいたします。

○税務課長(篠原 浩君) 中村議員のご質問にお答えいたします。たばこ税の今回の予算計上におきましての積算根拠というご質問でございますが、たばこには3級品と3級品以外がございます、どちらも金額的には上がつてんですが、3級品で1本0.626円、3級品以外で1本1.320円上がっております。で、前年度から約1割減という形ですね、本数減という形で積算しまして今回計上しております。ちなみに3級品が50万本、3級品以外が2,700万本で予算計上しております。以上でございます。

○上下水道課長(河野 秀二君) 中村議員のご質問にお答えいたします。下水道の加入及び加入件数の件ですけど、平成22年度に66戸の接続をしております。加入率関係なんです、人口の比率では59.17%、施設数、家の戸数ですね、いきますと55.39%となっております。そういった数字を見込んでの増額を計上しております。以上で説明を終わります。

○議長(川越 忠明君) ほかに質疑はありませんか。

○議員(徳弘 美津子君) 議案第16号の一般会計予算ですが、まず31ページの県支出金、緊急雇用創出事業10分の10事業、3,434万7千円、ふるさと雇用創出事業10分の10事業、1,555万円ですね、これはまあ、緊急雇用の場合は様々な労務費、労働費の中です。それから、ふるさと雇用のほうも観光ピーアール促進事業、地場産業促進事業という兼ね合いで出されておりますが、この緊急雇用創出事業の10分の10の3,400万円の緊急雇用なわけですので、雇用対象者っていうかは何人くらいいるのか。それとその、例えば緊急雇用ですので、昨年度の継続の方たちがその中にいらっしゃるのかどうか。それから、ふるさと創出事業も雇用の中にあるんですが、委託料として1,148万5千円、すみません105ページですね、1,148万5千円の委託料、それからもう一つ、

地場産業のほうで406万7千円の委託料とありますので、あわせてこの委託先をお願いいたします。それから、67ページ、69ページ関連ですが、県議会の選挙、町議会選挙とかあるんですが、その中で開票事務従事者報償費とありますが、昨年参議院選挙の時に機械の導入をしました、その兼ね合いでその部分が少し減っているのかどうかということもあわせてお願いいたします。

○総合政策課長(諸橋 司君) 徳弘議員のご質疑にお答えをいたします。31ページのですね、緊急雇用創出事業10分の10、3、434万7千円のですね、雇用の人数の件なんです、これは各課のですね、積み上げでございますので、ちょっと今ですね、人数については手元に資料がございませんので、また後ほどお答えをいたします。それから、105ページ、ふるさと雇用創出事業1、148万5千円につきましては、委託先はですね、観光協会のほうになります。人数がですね、3人です。それから、ふるさと雇用創出事業のですね、地場産業促進事業、これにつきましては委託先が地場産業振興会のほうですね、そちらの方に委託をしております、これは1人分の予算でございます。以上です。

○総務課長(吉田 一二六君) 徳弘議員のご質問にお答えしたいと思います。開票事務の人数関係ですが、極力ですね、減らしながらですね、やっていきたいというふうに思っております。機械導入の影響ですね、迅速にできるようにですね、極力減らして、以前から減らしてはるんですけども、まだ減らせるようであればですね、やっていきたいというふうには思っております。

○議員(徳弘 美津子君) それでは、緊急雇用の積み上げのほうは各課でよろしくお願ひいたします。で、あと内容ですね、新規なのかそれとも昨年と同様の継続があるのかということもあわせてお願ひいたします。それから、105ページの先ほどのふるさと雇用創出事業ですが、3人の雇用ということで、昨年もあったかと思うんですが、具体的な取り組みとしてどのようなことをしたかというのがわかればお願ひいたします。

○総合政策課長(諸橋 司君) 徳弘議員のご質疑に再度お答えをいたします。この事業につきましてはですね、継続の事業でございます。取り組みにつきましては、観光PR促進事業につきましてはですね、主に観光協会のほうで観光ピーアールホームページ作成等に取り組んでいただいております。それから、地場産業振興会のほうではですね、地場産品のピーアール活動を行っております。以上です。

○議長(川越 忠明君) ほかに質疑はありませんか。

○議員(江藤 和利君) 議案第16号平成23年度川南町一般会計予算案についてお聞きしたいと思います。2款1項6目の関係の57ページ、先ほどですね、同僚議員から出ました住宅リフォーム助成事業1、500万。昨年度1、000万計上されて、その中でいろいろ話を聞きますとですね、業者と相談しながらこのような補助事業があるよと、ということで業者の方から言われてですね、申請いったらもう枠がなかったと、そういう方もおられるんです。そこ辺に対して先ほど課長のほうからですね、さかのぼってやるということはいけないという答弁があったわけなんですけど、やはりここ辺はですね、考えて検討すべき必要があると思うんですよ。ただその終わった時点から今度の新規予算、1、500

万計上されておりますけど、その間にですね、そういう方向でリフォームされておる。やはりここは救済する必要があると思うんですよね。一つそこは検討をお願いしたいと思います。それからですね、63ページ、先ほどちょっと意見が出たんですけど、2款2項2目13節の中ですね、固定資産現況データバンクシステムの保守委託料、315万計上されております。この中で、平成21年度にですね、先ほど税務課長のほうから答弁がございましたが、固定資産税の公平性ということで3,700万計上されております。その中で全棟検査をしております。その最初はですね、全棟検査の戸数、そこ辺と、5年間でいいですよ、町税の中の固定資産税の比率、それをお答えいただきたいと思います。

○税務課長(篠原 浩君) 江藤議員のご質問にお答えしたいと思います。今回の全棟調査の検査数っていうことでございますが、こちらのほうにですね、ちょっと正式な資料を持ち合わせてないんですが、調べてですね正確な数値をですね、あとでお持ちしたいと思います。それである、固定資産の占める割合っていう部分の5年間っていう部分に関しましてはですね、ちょっとこちらのほうで数値を、5年間の平均数値っていうのは持っておりませんが、固定資産税が今回の部分でいきますと、約6億8,000万、町税の全体枠が13億程度ですので、約半分程度は占めるものになるかと思っております。以上です。

○総合政策課長(諸橋 司君) 江藤議員のご質疑にお答えをいたします。住宅リフォーム助成事業の件なんですけど、平成22年度途中にですね、補助金が打ち切りっていうことになった人の対策なんですけど、今の状況ではですね、大変厳しい状況でありますので、ご理解をいただきたいと思っております。以上です。

○議員(江藤 和利君) 21年度に3,700万です。で、全棟検査です。22年度に3,700万また計上しております。7,400万。ここで全棟検査をして、その評価ですよ、それをやると、そういう形で予算計上しておるんですよ。そして23年度から課税する。それが今回のこの23年度の当初予算、反映されてないんですよ。それと24年度に固定資産の今度は評価替えがある。それで今度は宅地も78カ所やってるんですよ。そこ辺がこの固定資産、町長も口蹄疫で町税が減収と、そういう方向で言われます。ここ辺のデータをですね、やはりピシピシとして課税するなら課税する、23年度の当初予算に上げていくと、やはりここ辺の姿勢は必要だと思うんです。それと、今度はリフォームいきます。リフォームは今んとこ無理だと、しかしですよ、そういう方向で業者とやって、途中で切りましたと、また新たな年にまた予算計上します。その間の空間ですよ。やはりここ辺は23年度に組むなら、やはり継続性があってしかるべきだと思うんですよね。町長、ここ辺に対する政策的なですよ、判断も必要と思うんですけど、町長はどういう考えを持ちよりやるのか。

○町長(内野宮 正英君) できたらですね、何とかしたいということで、実は内部検討はしました。ただ、問題はそういう方がですね、来られて、あるいは電話で問い合わせがあって、そしてそれがどういふ方がもうわからないという実態があるものから、ここで改めてそういう人を救済するちゅうことをやると、ちょっとまた不公平が出てくる心配があると、そういうようなですね、ことです。内部的には十分いろいろ検討しました。そういう事情もありますのでですね、こんなに早くそれが進むというのは、

ちょっとまあ想定以上に利用が多かったということがあるわけでございますけれども、そういう事情がありますので、さらにそれやるとさらに不公平がですね、出てくる可能性があるということからですね、新年度にさしていただいたところでございます。

○議長(川越 忠明君) しばらく休憩します。10分間休憩します。

午前10時49分休憩

午前10時59分再開

○議長(川越 忠明君) 会議を再開します。休憩前に引き続き会議を続行します。ここで総合政策課長及び健康福祉課長から発言を求められておりますので、これを許します。

○総合政策課長(諸橋 司君) 徳弘議員のご質疑の中で緊急雇用創出事業におきます人数について、ご報告をいたします。公園等の管理整備事業で3人、それから、学校ICT促進事業で2人、学校図書室活用事業で7人、特定健診受診率アップ事業で2人、農業者個別保障制度推進事業で2人、計16人となっております。以上です。

○健康福祉課長(米田 正直君) 先ほどの米山議員のご質問に答えが漏れておりました件についてご報告を申し上げたいと思いますが、健診謝金についてでございますが、そのうち看護師等賃金がだぶっておるのではないかというご指摘がありましたけれども、この看護師でございますが、総合健診結構いろいろ看護師等お願いするわけでございますけれども、社会福祉協議会の職員を使う関係で、賃金ではふさわしくないというようなことがありまして、賃金に代わる謝金ということで図書券ということを計上しておるところでございます。以上です。

○税務課長(篠原 浩君) 先ほどの江藤議員のご質問にお答えいたします。21、22年度行いました全棟調査につきましては、今回22年度で終了しまして、23年度の課税分には反映しているわけでございますが、実測として増収になってないということにつきまして、若干ご説明をしたいと思えます。まず、今回の部分に関しましての新規課税分と新築家屋、この部分の増収部分が1,383万3千円でございます。それと、今回の全棟調査による減失家屋、それから通常の減失家屋の部分が603万9千円。相対しまして780万ほどの増収になる予定でございますが、全体的に見ますと、そこまで上がってないという形になっております。これにつきましては、まず建物というものは毎年減価償却していきますので、基本ベースがどんどん下がっていくという部分が1点あります。それから、前回はですね、選果場の建物部分のこちらの評価が約920万ほどございました。この部分の特異的な部分が23年度は見込めないということ、それから、前年度予算の当初予算、これがちょっと過大に見積もっていた部分もございまして、前年度当初と比較しますと若干の微増という形になっている現状でございます。もちろん全棟調査につきましては、増収、これが一つは目的であったわけでございますが、もう一つは課税の公平性という観点からの全棟調査でもありましたことをですね、申し添えておきたいと思えます。以上でございます。

○議員(江藤 和利君) あんまり固定資産が伸ばんようにありますので、ちょっと方向転換していき

たいと思います。1款4項1目1節、今回たばこ税が27.1%の増ということで1億2,578万1千円計上されてます。これをですね、ひよっとしたら間違えてるかも分かりませんが、市町村の1.32円でですね、それで割りますと9,528万9千本という方向で、20本の箱でいきますと、単純計算で476万5千箱という形で、やはりなかなか厳しい、たばこを吸う場所もねえと言いながら協力をしていただいている方もおられます。この方たちに大変うれしい限りでございますが、町のほうでこのピーアールをです、どこどこ行くときにや川南町で買えと、やはりこういうピーアールはしてです、吸うところで堂々と吸うて、町にですね協力をしていただきたい。こういう方向のですね、ピーアールもしながら町税の増収です、そういう対策も図っていただきたい。じゃあ、嫌いな人もおりやっじゃろう。しかし、好きな人もおりやっじゃかい、して、町にこのような方向でですね、税金1億2,500万やっておりますので、このようなピーアールもですね、一つ大いにやって町の財政が潤う、そういう対策も取っていただきたい。それから、この固定資産税にまたいきますけど、これ、税金をですね100円取るのに1,000円かかってもやらないかと。この中で先ほど言いましたように3,700万、2年、7,400万、それにまた480万別個に78カ所のですね調査やいろいろやってかかっております。その中で今回、全棟調査をですね、やっていただいたのは物凄くよかったと思うんです。その中にはですね、鶏舎なり、廃舎になっておるんですね。そこ辺に対する課税がですね、廃舎の届け出をしちよらんで、課税になっておった部分も多々あったと思うんです。そこ辺に対して整理がですね、できておるのではないかと、そこ辺で先ほど税務課長が言われました増と減、そこ辺でなかなか固定資産税をですね、課税をされておった分が今度全棟検査をして、掛からないと、そういう場所もだいぶ出たんじゃないかなという感じもいたしますので、ここ辺の資料はですね、後から提出していただきたいと思います。それから、このリフォームに関してはですね、先ほど町長が言われましたように、内部でそのような方向で検討したと。ただ僕ものさんのはですね、去年の1,000万で終わって今年の当初で1,500万計上されちよらんければですよ、これは問題ないんですよ。おまえどんが協議して、いろいろ業者と協議しながら遅れたわと、そんなにねなたちちやわと、こういう言い方です。しかし今度当初予算に計上されておる、このだから間の人ですよ。そこ辺でなかなかこう厳しいなあ、そんげ言われたとやが、おい、町は何しよとやと、やはり継続性じゃねえつつやと、こういろいろ出ます。そういう中でですね、こういう途切れがあって、また建設業、ここで言わると大変のさんですけど、そこ辺の中でですね、またリフォームをこういう形で追加計上されてですね上がってくるというのがですね、そこ辺で一つ空間ができる大変厳しいと。そこ辺に対するですね町に対する不信感も出ると思うんです。ここ辺を今後ですね、いろいろ対策を練っていただきながら救済措置ができればですね、それが一番いいんですけど、一つそこ辺も踏まえてですね、最後に答弁いただいて質問を終わりたいと思います。

○税務課長(篠原 浩君) 江藤議員が言われました先ほどの全棟調査関係の資料につきましては、後でお持ちしたいと思います。以上です。

たばこの地元で買う部分についてのピーアール等につきましてはですね、いろいろな意見もあると思いますが、吸われる方は地元で買っていただきたいという部分に関しては、ちょっと検討させてい

ただきたいと思います。以上です。

○議長(川越 忠明君) ほかに質疑はありませんか。

○議員(内藤 逸子君) 一般会計の80ページですね、民生費の社会保障費ですけど、昨年と比べて減っているんですが、これはサービスが受けられにくくなったから減ったのかっていうことをお尋ねします。それと、議案第17号の国民健康保険税について、国民保険税は被保険者1人当たりの税額を昨年と同様で暫定的に見込み計上していますと書いてありますが、児湯郡内では川南町が一番高い税率を取ってる税金なんですよ。それを下げてくださいような検討をしていただきたいと思います。これは要望なんですけど、一番高いといふとなんか響きも悪いんですけど、高く払えないということで医療を我慢している人もいると思うんですよ。私はよう払わんがという人も聞きますので、6月に算定し直すということですので、これは希望なんですけど、なるべく下げてくださいような検討をしていただきたいをお願いしますと思います。

○健康福祉課長(米田 正直君) これはサービスの低下ではなくて、平成22年度の当初予算で課題見積もりということもありまして、それを勘案しながら、人数でこういう予算額になっておる状況でございます。以上です。

○税務課長(篠原 浩君) 内藤議員のご質問にお答えいたします。先ほどの国保税の算定の時に要望として下げただけでないかというご質問だったかと思いますが、これにつきましては、今確定申告で税の受付をしております。それに伴いまして、6月が本算定という形になろうかと思いますが、その時にですね、今後の国保財政の運営を含めて検討した形ですね、検討させていただければと思っております。以上です。

○議長(川越 忠明君) ほかに質疑はありませんか。

○議員(久木野 清人君) しばらく黙っておったんですけど、一つだけ、議案第16号平成23年度川南町一般会計補正予算中の77ページ、民生費の民生委員協議会補助金というのがですね、去年よりか199万減額されているんですけども、この、要素としてまずお聞きいたします。

○健康福祉課長(米田 正直君) 久木野議員のご質問にお答えしていきたいと思いますが、民生委員会補助金でございますけれども、3年に1回ですね、県外の研修を計画されます。それに対して補助をしていくわけでございますが、去年はそういった意味でその分が増えておったかと思っております。以上です。

○議員(久木野 清人君) 去年は確か口蹄疫でこの研修がなかったというふうに聞いておりますけれども、今民生委員というのは、大変それぞれ地区で選出されているのに困っていらっしゃるようです。ですから、民生委員の人たちに対する、何といいますか、保護はしてやるべきだと思いますので、そういった点について十分考慮していただいて、民生委員の人たちが頑張って活動されるようお願いしておきます。

○議長(川越 忠明君) ほかに質疑はありませんか。

○議員(河野 幸夫君) 議案第16号平成23年度川南町一般会計予算中、125ページですね、

温泉施設についてなんですけど、これは2,179万円と上がっておりますが、使用料としてですね、1,098万6千円となっております、差し引き1,080万4千円ですか、まあ、赤字ということで、毎年赤字になっているようでございますが、今後、この温泉施設をどう考えていらっしゃるか、お聞きいたします。

○総合政策課長(諸橋 司君) 河野議員のご質疑にお答えをいたします。議員おっしゃる通りですね、収入から支出を引きますと、昨年度でですね、922万ほどの赤字、それから20年度がですね、960万ほどのですね、赤字を見ております。現在ですね、温泉の施設につきましては、町有地じゃなくてですね、個人の用地を借り上げをしております。で、施設につきましても、もう10数年経過をしております、老朽化が激しくなっておるような状態であります。新年度、23年度にですね、温泉施設についてはまた、町のほうの政策会議もございますので、そちらのほうに諮る考えでおります。以上です。

○議長(川越 忠明君) ほかに質疑はありませんか。これで質疑を終ります。

お諮りします。ただ今議題となっております議案を慎重に審議するため、所管の常任委員会に付託したいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。したがって、議案第16号は、所管事項別に、それぞれ所管の常任委員会に、議案第17号、議案第21号、議案第22号及び議案第23号は文教厚生常任委員会に、議案第18号、議案第19号、議案第20号及び議案第24号は、産業建設常任委員会にそれぞれ付託します。

以上で、本日の日程は、全部終了しました。本日は、これで散会します。おつかれさまでした。

なお、引き続き、ただ今付託されました議案について、各常任委員会ごとの審査をお願いします。

午前11時18分閉会
